

## 平成30年度 秋田県スキー連盟 競技本部マスターズ委員会議事録

日時 平成29年11月4日 (土)14:00～16:00

場所 秋田県スポーツ科学センター 3階会議室

出席者 田村次男、阿部健、永井豊美、浅石敦幸、田口晶英、菅原梯祐、沼倉正八  
齊藤匡彦、東海林高志、佐々木功基

田口晶英副理事長よりあいさつと田沢湖スキー場で全日本マスターズ選手権大会の開催が第45回(2021年3月)、第46回(2022年3月)の2年連続で決定したとの報告があった。

### 議事

- 1.全日本報告 田村次男マスターズ委員長  
SAJ マスターズ大会マテリアル(スキーヘルメット)の対応について説明(内容は配布資料1による)
- 2.今シーズンの活動について 浅石敦幸総務  
県体スキー競技会の開催日時について説明。  
東北マスターズ選手権大会日程、全日本マスターズスキー選手権大会、FIS マスターズスキー大会についての日程、エントリー等について説明(内容は配布資料2による)
- 3.その他
  - 1)マスターズスキーの現状について意見交換
    - ・田村次男マスターズ委員長  
年々マスターズ選手の減少傾向があり、何か対策が必要と考える。特に若い世代(40歳代～50歳代)の選手を取り込む対策が急務と考える。以前はマスターズ選手もそれなりに練習する環境が各地域にあった。最近ほとんどなくなってしまった。まずはマスターズ選手も気軽に練習できる環境が必要と思う。
    - ・浅石敦幸総務  
秋田八幡平スキー場は東北マスターズ選手権大会前に二日間マスターズ選手による練習会が開催されている。大会と合わせて好評である。お陰様で大会参加者数も増加している。又、たざわ湖スキー場で FIS 公認コースの申請があるとの情報だが、FIS マスターズ大会をたざわ湖スキー場で開催できれば FIS マスターズスキー大会が2レースとなり FIS ポイント獲得も可能になる。最もメリットがあるのはたざわ湖スキー場の知名度を利用すれば参加選手数も確保される。新たなマスターズ選手も期待できる。
    - ・阿部健副委員長  
大鰐温泉スキー場には常設のポール練習コースがあり、日常的に利用している。県内スキー場にも常設のポール練習コースがあればそれを利用し競技に復活する選手も期待できる。  
2016年たざわ湖スキー場開催の全日本マスターズ選手権大会では料理が好評であった。又、昨年の安比大会の秋田県選手団の民宿では餅つきがありそれを振る舞い好評であった。たざわ湖大会でもイベント的なことを期待する。
    - ・田口晶英委員  
たざわ湖大会では実行委員会から各宿泊施設に料理や料金設定についてある程度要望した。
    - ・阿部健副委員長

東北マスターズ大会や全日本マスターズスキー選手権大会の要項に宿泊施設の紹介があれば役に立つ。東北マスターズスキー大会実行委員会でクロスカントリーにも関与すべきであり、北秋田市でマスターズスキー大会の開催ができないか検討してほしい。

2) 来年度のマスターズ委員会役員改選と会議開催時期について

・田村次男委員長

マスターズスキー大会開催地にも委員として参加してもらいたい。又、全日本マスターズスキー選手権大会の開催も決定しており、それと FIS 大会開催の期待もあるので、それらを見据えた改選であってほしい。会議開催時期については東北マスターズスキー大会実行委員会総会との兼ね合いもあるが遅くともスキー秋田編集前まで決定していなければならない。各委員で相応しい人選を考えてほしい。

作成者 田村次男

(不慣れなことと、当日録音していなかったため取りこぼしがあると思うが、ある程度の内容をまとめました。)

内容確認者 沼倉正八委員